

換気なんて！？と云わずもっと換気システムを大事に！

15-07-I

当社では当初から快適生活環境を創造するには気密断熱とサッシと換気が重要であると、繰り返しお話ししてきましたが、まだまだ換気の重要性が理解していただけない方が多いようです。



(常にリボンが揺れている)

最近現場発泡系の断熱と高性能サッシの普及採用により格段に住宅の気密性能が高まったようです。そこで益々換気システムが重要になります

当社がアイシネンを営業し始めたころは、しっかりした換気システムが重要で、必ず運転を続けフィルターの清掃の仕方や交換まで説明してきました。

(給気口からしっかり外気・新鮮空気が取り込まれています)



(わずかな隙間が出来ると)

2003年3月建築基準法の改正により、住宅等の居室には24時間常時換気が出来、基本2時間に1回の割で空気を入れ替える能力のある換気システムが必要となりました

それからは、どこの家でも各居室にいろいろなタイプの給気口が付き、トイレなどに24時間換気扇と称するパイプファンが付けられるようになりました、そして間違えて運転を止めないように特殊なスイッチが付くようになりましたね。



(例えばドアが開くと止まる)

ところが引き渡しの時点で、換気の実験はなされないまま、「寒かったり音がうるさかったら止めてもいいですよ」「電気代がもったいないですね」程度の話で終わっているようです。

実際アイシネンを施工させていただいた寒冷地にお住まいの方を訪ねたとき、北側の窓が結露して困っているとの相談を受け調査すると、案の定換気扇は止め、給気口のシャッターも閉じたままでした。

(少しでも隙間があるとフィルター付の給気口からは入りません)



アイシネンで施工した家はほとんどC値1以下の高气密住宅になります、わずかな換気量で音も寒さも電気代も気にすることなく、空気を入れ替え室内の空気質を改善し、結露の発生を抑える働きがあります。また、カビや花粉など目に見えない孢子なども排出することが出来るのです。

(わずか2か月足らずで給気口のフィルターでさえこの状況です)



アイシネンの家にお住まいの方は、給気口・換気扇のフィルターを見てください、2ヶ月程度でフィルターが真っ黒になります、つまりいかに汚れた空気をきれいに行っているかの証です。メンテナンスもお忘れなく。ただ気候の良い時期に換気・エアコンを止めて窓を開け放して、思い切り外の空気を取り入れることも良いものです。

(室内に浮遊するハウスダスト・カビ・ダニの糞などを排気ファンに集塵され室内の空気をきれいにします)

この記事に関するお問合せは、(有)生環システム 森本まで Email: info@seikan-s.jp

生環システム Web サイト <http://www.seikan-s.jp> 生環新書 <http://www.seikan-s.jp/ebook/>